議会だより たかもり

令和4年10月31日 No.153

UD FONT

地産地消
「旬の食材を食べよう」
感謝の気持ちでいただきます

p2　9月定例会･決算審査
p6　議決結果
p8　請願･陳情
p9　一般質問
p18　モニターアンケート・追跡
p20　みんなの声　牛牧　沢田 和夫さん
　　山吹　伊藤 いづみさん

万円を認定

令和4年9月定例会は、9月2日から14日までの13日間の会期で開かれました。令和3年度「一般会計」「特別会計5件」「企業会計2件」の決算をはじめ、条例改正1件、規則改正1件、令和4年度補正予算8件、工事請負契約1件、教育委員会委員の任命1件が上程され、いずれも原案どおり認定・可決・同意しました。請願は5件提出され3件は採択、2件は継続審査となりました。6月定例会で継続審査となっていた陳情1件は採択しました。

一般会計

歳入総額 83億3692万円

前年度より6億円余減少

令和3年度、歳入は前年度に比べ6億657万円、6・8%の減少。歳出は前年度より6億9901万円、8・5%減少しました。最も大きな要因は、令和2年度の新型コロナ臨時特別定額給付金13億円余が無くなったためです。

歳入

前年度に比べ、町税は4796万円減、国庫支出金9億8660万円減、県支出金5024万円減、地方交付税1億7598万円増でした。

歳出

認定こども園ぱどま整備事業
4億6545万円

ほたるパーク周辺開発事業
1億3198万円

認定こども園ぱどま周辺町道拡幅事業
1億2964万円

橋梁点検整備事業
1億2849万円

町道I-3号線歩道設置事業
7233万円

新設された認定こども園ぱどまと拡幅された周辺町道

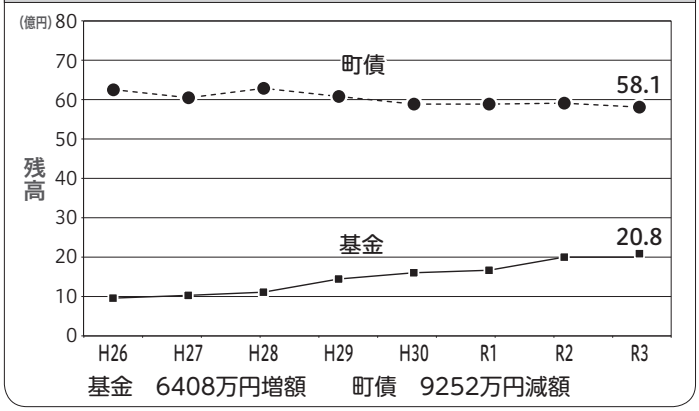
財政健全化4指標

	指標	前年比較
財政力指数 自主財源の3年間の平均	0.415	0.005低下
経常収支比率 使い道が決まっている割合	81.0%	2.9%改善
実質公債費比率 借入金(起債)返済の割合	7.2%	0.7%改善
将来負担比率 将来支払うべき借金返済の重み	31.3%	12.6%改善

基金総額 4556万円増額

基金総額 23億8183万円	
一般会計	
財政調整基金	8億5207万円
減債基金	6577万円
公共施設整備更新基金	7億4414万円
ふるさと元気づくり基金	3億3544万円
地域福祉基金	3274万円
電気設備管理基金	110万円
ケーブルテレビ放送設備基金	4203万円
地域創生寄附活用基金	802万円
特別会計	
国民健康保険財政調整基金	1億7987万円
介護保険支払準備基金	9724万円
地域開発基金	2343万円

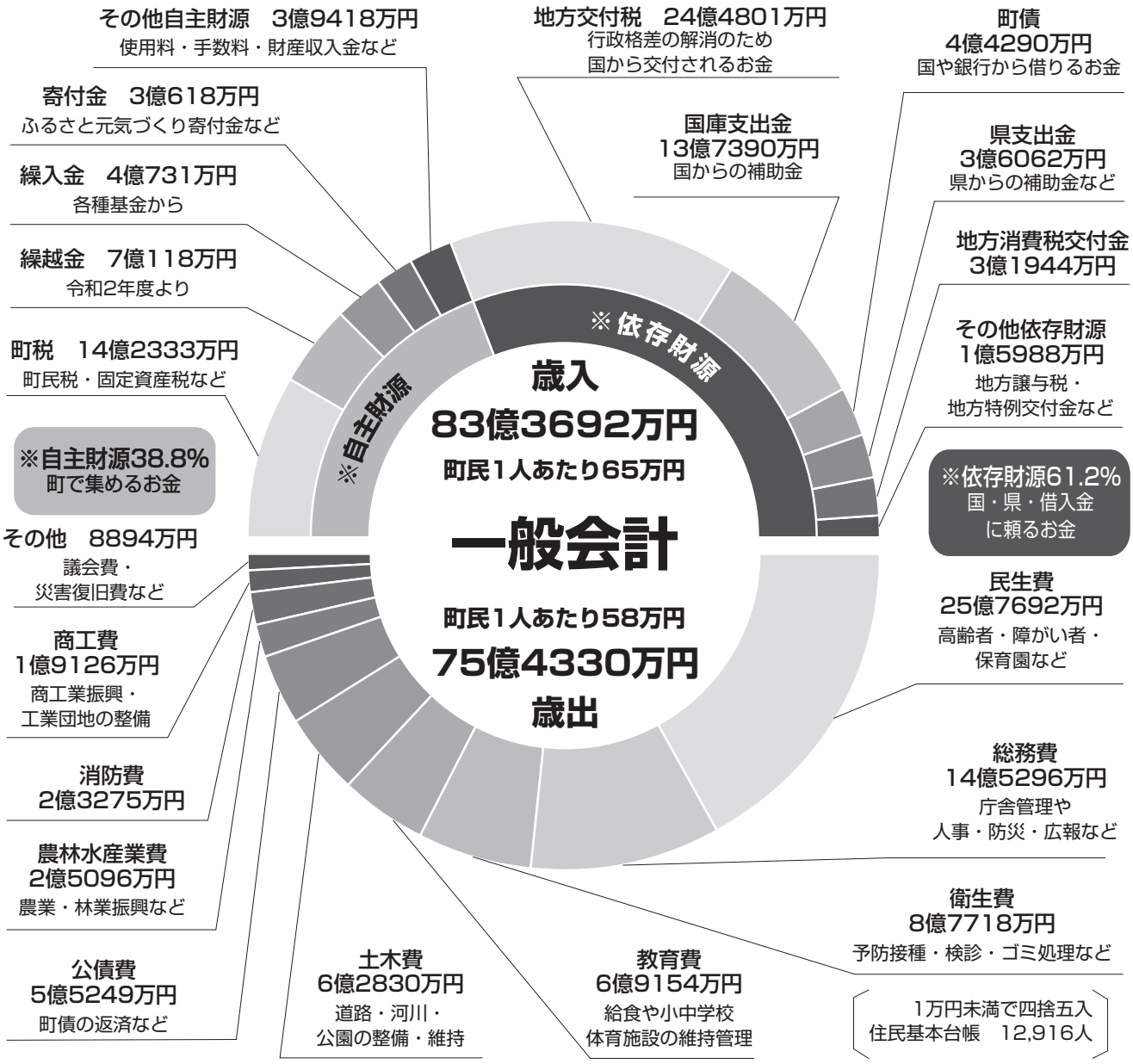
一般会計基金(積立)と町債(借金)の年度末残高



基金　6408万円増額　　町債　9252万円減額

令和3年度 決算

歳出総額 75億4330



会計区分	特別会計					企業会計	
	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	地域開発事業	農業集落排水事業	公共下水道事業	水道事業
歳入(収益)	12億480万円	1億7401万円	15億4115万円	5億7043万円	2億8082万円	4億5667万円	3億1732万円
前年度比較増減	3488万円	607万円	7126万円	▲1億5765万円	751万円	▲5989万円	1670万円
歳出(費用)	11億7731万円	1億7365万円	13億9444万円	3億6961万円	2億5731万円	4億3225万円	2億4010万円
前年度比較増減	4140万円	590万円	7994万円	▲3億3195万円	632万円	3099万円	3764万円
差引残高	2749万円	36万円	1億4671万円	2億81万円	2351万円	2442万円	7722万円

Ⓐ 付託された議案について専門的な観点から細かく審査するため

第一分科会（総務民生）主な審査内容

税務会計課

町税徴収事務　754万円

質問　町税・国保税の徴収率が右肩上がりで評価できる。コロナ禍で状況が厳しい中、徴収率が上がった要因は。

回答　長野県地方税滞納整理機構との連携を密にし、効果的な滞納処分を行ってきたからと思う。

質問　生活に困窮されている方の執行停止要件や手続きの流れは。

回答　滞納整理の基本的な流れは他の滞納者と同じである。催告書を送付し連絡をいただけない滞納者については、まず財産調査を行う。次に差し押さえできる財産がある場合には差し押さえを行う。差し押さえ可能な財産や収入がない場合は、滞納処分の執行停止を行い、3年間様子を見て資金力が回復すれば滞納分も含めて納税してもらう。状況が回復しない方は、滞納分を不納欠損処理する。

教育委員会

高森中学校小原ヶ丘塾　実施事業　53万円

質問　小原ヶ丘塾は子どもたちからのニーズが高いことが伺える。講師報酬が一人9千円とある。講師の充実をはかるために、もう少し報酬を上げることを検討してはどうか。

回答　参加生徒にはアンケートを実施しており、満足度は高い。講師の方を見つけることが大きな課題である。また、時給については会計年度任用職員の学習支援員を根拠としている。

健康福祉課

一人暮らし高齢者等交流見守り事業　27万円

質問　安心コールと緊急通報システムの利用者の負担はいくらか。

回答　安心コールは町社会福祉協議会が週2回安否を確認する事業で利用者負担はない。緊急通報システムは月額200円で機器を貸出している。

総務課

職員人件費　9億6527万円

質問　ゆとりを持って業務に当たれるよう環境を整備すべきと思う。職員の職務状況が過密ではないか。

回答　当町は全国的に見ても、人口当たりの職員数が少ないことも事実。定年延長など、定員管理の在り方をトータルで検討していく。

全体会・第一分科会に関する質問

総務課　職員メンタルヘルス支援事業　48万円

質問　高ストレス判定の者が23名と前年度よりも増加傾向にある。今後の対策を検討しては。

回答　高ストレス判定の者への対応は本人のプライバシーもあることから、名乗り出ることを優先しメンタルヘルス相談会の情報を提供している。連続して判定を受けているかなどの状況把握はできていない。産業医と相談しながら本人の同意や申告をもとに、何らかの対応をしていきたい。

要望　職員あっての高森町である。今後の対策について検討を願う。

公民館で開かれる小原ヶ丘塾

令和3年度 決算審査 審議内容

総務・健福・税務・教育 関連
産業・環水・建設 関連

全体の流れ

なぜ分科会で行われるのか

第二分科会（産業建設）主な審査内容

産業課

青年就農者定着支援事業 1482万円

質問　次世代投資について、夫婦で受けている人がいるのか。5年で150万円とのことだが収入が上がると減るのか。

回答　一人の申請では150万円×5年、夫婦は225万円×5年。所得が上がれば調整される。

女性の就業応援事業 107万円

質問　決算額は令和2年度の半分になっている。交付金がなくなったためか。

回答　地方推進交付金がなくなった分は事業を絞り、働き方改革推進で行っていた事業の一部をこちらに移管している。

建設課

町道維持管理事業 2512万円

質問　前年度に比べると決算額が大きく伸びたが日本ベスコット㈱への委託時点で草を刈る回数は決まっているのか。

回答　回数までは決めていない。
契約は主要幹線道路7路線だが、区を通して町へ依頼される個所も増えてきた。

町道冬季維持管理事業 1351万円

質問　現在の除雪区域外の細かい路線の除雪を町で考えているか。

回答　町の除雪は幹線道路。通学路等は地域へお願いして行きたい。
また、ガードレール利用に替わる除雪方法も検討する。

環境水道課

投棄ごみ収集と防止事業 471万円

質問　不法投棄ごみ処理の費用が前年度に比べ増加しているがその要因は。

回答　収集した不法投棄ごみの内容により、処分方法が変わることがあるため、処分費用が異なってくる。

生ごみ処理機導入補助事業 23万円

質問　生ごみ処理機購入補助が昨年より減少している要因は。

回答　PR不足もあり、生ごみ処理機を購入された方が少なかった。
処理機には数万円から10万円余のものもあり、購入価格により変動する。

全体会・第二分科会に関する質問

環境水道課　特定外来生物駆除事業　31万円

質問　GAIRAIバスターズに謝礼21万2千円でアレチウリ等の抜き取りや焼却処理にご協力いただいているが、現状ではますます広がり続けている。バスターズの活動に加えて効果的な対策はないのか。

回答　町民の皆様に特定外来生物のことをまず知っていただくことが必要だと考え、バスターズの活動の他に広報にも努めている。身近な場所での駆除活動に取り組んでいただければと考えている。

広がり続けるアレチウリ

９月定例会 議決結果

○条例制定

議案名	結果	内容
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	人事院規則の一部改正に伴い、非常勤職員の育児休業等の取得要件を緩和するもの

○議会会議規則の改正

議案名	結果	内容
議会会議規則の一部を改正する規則について	可決	・議会への欠席事由及び出産の産前・産後の欠席期間の整備 ・請願者の押印を見直し、署名又は記名押印とする

○令和3年度高森町歳入歳出決算の認定 詳細は２～５ページをご覧ください

議案名	結果
一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
地域開発事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	認定
水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	認定

○人事案件

件名	結果	内容
教育委員会委員の任命について	同意	任期満了に伴い再任命するもの 湯澤 正農夫（まさのぶ） 氏（73）出原

○令和4年度高森町補正予算

議案名	結果	内容
一般会計補正予算(第3号)について	**可決**	2億1731万円増額、総額76億2098万円
国民健康保険事業特別会計補正予算(第１号)について	**可決**	1248万円増額、総額13億2340万円
後期高齢者医療特別会計補正予算(第２号)について	**可決**	71万円増額、総額1億7999万円
介護保険特別会計補正予算(第１号)について	**可決**	7682万円増額、総額15億3665万円
地域開発事業特別会計補正予算(第１号)について	**可決**	1885万円増額、総額2億7219万円
農業集落排水事業特別会計補正予算(第２号)について	**可決**	1518万円増額、総額3億3387万円
公共下水道事業会計補正予算(第１号)について	**可決**	収益的収入328万円減額、支出111万円増額 資本的収入1921万円減額、支出2642万円減額
水道事業会計補正予算(第２号)について	**可決**	収益的収入　増減なし　　支出373万円増額 資本的収入319万円増額　支出968万円増額

○請負契約

議案名	結果	内容
令和４年度地方創生拠点整備交付金事業 高森町スポーツ拠点施設 クラブハウス改修工事 請負契約の締結	**可決**	スポーツ拠点施設 クラブハウス改修工事 一般競争入札2億3650万円

『令和４年度地方創生拠点整備交付金事業 高森町スポーツ拠点施設 クラブハウス改修工事請負契約の締結』に対する討論

反対

・契約相手の営業所は5年前から議会で実態が無いと指摘されている。調査せず契約することは後々に問題の原因を残すことになる。
・町は県協会のフットボールセンターにするか未定。総工費10億7000万円の全体像も不明確である。
・基本設計がないままに事業費を議会が認定し、説明会終了前に入札された。基本条例から外れてしまう。

賛成

・建設会社としてすでに町で依頼している事業もあり、技術・建設能力・資本についても充分な建設会社である。
・営業所の実態について産業建設委員長が営業所を確認したら何ら問題はなかった。
・山吹ほたるパーク周辺整備事業の全体像については、町長から昨年の11月に議会に説明があり、また町民に何度も説明があった。

本島	齋藤	小沢	河合	小川	佐々木	三浦	木下	原	北沢	市川	大島	岩口	小平
○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	−

※議長は賛否同数の場合のみ議長裁決となり、賛否を表明します。

○請願

件名	結果	内容
「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書	**採択**	・少人数学級推進と教育予算の増額をすること ・義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を２分の１に復元するなど拡充すること
「不登校児童に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める請願書」	**採択**	・「不登校の児童生徒が、いわゆるフリースクール等の学校以外の場において行う多様な学習活動に対しては、その負担の軽減のための経済的支援の在り方について検討し、その結果に基づき必要な財政上の処置を講ずること」を進めること ・フリースクール等民間施設の設立及び運営補助金等の経済的支援制度の確立を講じること
「ゼロカーボン総合案内【共同事業体（コンソーシアム）】設置」に関する請願書	**採択**	・ゼロカーボン総合案内【共同事業体(コンソーシアム)】の設置をすること ・上記に伴い、情報収集・発信および、町民相談窓口(個人・法人)の設置すること

件名	結果	内容
上平河原へのボートレースチケットショップ（舟券売場）の建設に反対する請願書	**継続審査**	金カロウ有限会社による山吹上平河原へのボートレースチケットショップ（舟券売場）建設に反対するもの
高森町へのボートレースチケットショップ（場外舟券売場）建設反対に関する請願書	**継続審査**	高森町議会が「町内へのボートレースチケットショップ（場外舟券売場）建設に反対」の議決をすること

審議内容

・請願の判断材料として、署名活動の実態を確認し、地元５地区の住民意向調査を地区長より聴取する必要がある。
・議会が設置の是非を判断するには、住民の意見を広く聞き、十分な議論も必要であるなど、時間をかけて慎重に審議する。

以上のことから、継続審査となりました。

※継続審査は、付託された委員会が閉会中に引き続き審査を行うことを言います。

○陳情

件名	結果	内容
水田活用の直接支払い交付金見直しに関する陳情書	**採択**	水田活用の直接支払い交付金見直しをやめ、併せて、農家支援経営強化など施策の充実に努めること

８月臨時会 議決結果

議案名	結果	内容
令和4年度高森町一般会計補正予算(第2号)について	可決	歳入歳出に1億8782万円追加し総額を74億367万円とする (関連は P19 をご覧ください)
令和4年度高森町水道事業会計補正予算(第1号)について	可決	収益的支出予定額を165万円減額し2億4580万円とする
教育長の任命について	同意	前教育長の退任に伴い任命するもの 高野（こうの） 正延（まさのぶ） 氏（67）山吹

議員発町政へ

9月定例会の一般質問７議員が町政を質す

新型コロナウイルス感染防止のため50分間の質疑応答時間を40分間に短縮しました。

一般質問は議員が町の行財政全般にわたり、執行状況や将来に対する考え方の説明を求め、執行機関に疑問点を質し、町政運営をチェックすることが目的です。議員には固有の権能として与えられているものです。

原　敏明 …… (P10)
・プール授業が民間の屋内なのは

大島　正光 …… (P11)
・町の働き方改革の推進は

木下　啓爾 …… (P12)
・落札率100％はなぜ発生する

齋藤　天 …… (P13)
・脱炭素で町有林 農地の資産化を

佐々木　昌 …… (P14)
・再生可能エネルギーの目標は
・遊休荒廃地の有効活用策は

北沢　幸保 …… (P15)
・サッカー場 町民への周知 参画を

河合　隆俊 …… (P16)
・農業の多様な担い手の確保を

【議会ホット情報便】のお知らせ

放送日：毎月第3月曜日～日曜日　7:00　9:00　13:00　17:00　19:00
11 月以降の担当者は次の議員です。
11 月 小平 一博　12 月 本島 未来　1 月 齋藤 天

プール授業が民間の屋内なのは

教育委員会事務局長　**３つの課題、環境変化がある**

原（はら）　敏明（としあき）

▽**質問**

高森南小のプール授業を今年度は民間の屋内プールで行っているが、これに至った経緯は。

教育委員会事務局長

南小学校のプール授業を民間へ委託となるにはいくつかの課題がある。

１つ目は、施設の老朽化、それに伴うプール管理に関わる教員の負担が増えた。

２つ目は、屋外プールのため、天候による学習への影響、熱中症等の健康リスクがあり、プール開きを早める・暑い時間帯に授業を実施しない等していた。

３つ目は、水泳授業の考え方が、水泳運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにすることに変化した。

このような課題は当町だけではなく、その対応として、民間プールの活用をしている状況が確認できた。

学校を通じて、その取り組み等をヒアリング、また町内のプールを運営している民間事業者から費用面等を聞くなど、情報を収集し、数年かけ検討を進めてきた。

結果、プールの更新をした場合の経常経費、起債の毎年の償還などの費用負担と民間企業への委託料の費用面での比較、学校における民間への委託における児童への影響等も踏まえ、学校とも相談をし、総合的に判断して、民間企業への委託とした。

▽**質問**

熱中症になる危険があるのであれば、高森の北小や中学校についても、その方向での授業に移行していくのか。

教育委員会事務局長

本年度は、北小学校、中学校ともに、熱中症指数によるプール授業ができない日はなかった。

北小学校、中学校も、施設の耐用年数、熱中症などの健康リスク、また、水泳を取り巻く環境変化などを踏まえて総合的に判断していきたい。

▽**質問**

民間の屋内プールでの授業としてのデメリットとして、移動時間が長くなる。南北小に、授業の差は生まれないか。

教育委員会事務局長

委託先と、指導の仕方、児童の様子など情報共有し、職員も水着に着替え、一緒に指導を行っており、個々に合った指導に努めている。

個々の力の中で習得できることを重要としているので、南小は民間プールだから、北小は学校のプールだからという理由での差は生まれないと考える。また、10時間は確保するので、時間での差は生まれない。

▽**質問**

夏休み中のプール活動に支援を考えているか。

教育委員会事務局長

３年前から南小は、夏休みのプール授業は実施していない。

夏休みのプールの必要性について、保護者から要望等があれば、プールの見守りを保護者か、別の方にお願いするかなど、全体的な判断をした上で研究していきたい。

漏水等で使用できない高森南小学校プール

町の働き方改革の推進は

総務課長　５Ｓ活動を継続し引続き改善を進める

大島正光（おおしままさてる）

▽質問

町商工会が取り組む５Ｓ導入実践活動（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）に、町役場が平成30年度から取り組み、特に滑走路作戦を全課で推進したとお聞きした。

５Ｓ実践活動は、働き方改革の一つとして、業務環境改善の実現に向け、継続が大切である。

その後の活動や改革は進んでいるか。

総務課長

滑走路作戦では、事務室の机や書棚等の上面に、執務時間以外は滑走路のように何もない状態を目指し取り組んだ。

副町長や各課の５Ｓ推進委員による定期チェックを行い、職員の意識や行動の改善につながった。

令和３年度から、起案文書などの電子決裁システム導入によるペーパーレス化など進めている。

課題もあるが、これらの新たな取り組みは、働き方改革や５Ｓの継続につながっている。

▽質問

職員の年次有給休暇取得の現状を伺う。

総務課長

令和３年１月から12月の実績は、一般職員で平均８・02日。

令和２年は、平均６・35日となっている。

▽質問

非常に少ない、働きすぎではないか。有給休暇を取得し、健康管理に気を付けるよう指導をお願いしたい。

年次有給休暇の取得促進対策の町の考えは。

総務課長

事務の効率化を図りつつ、ワーク・ライフ・バランスを普及すること、優先度に応じた事務事業の中止や外部委託など考えていきたい。

▽質問

男性の育児休業の推進を目的に、昨年６月に改正育児介護休暇法が成立した。

本年10月から子どもが生まれて８週間以内に、計４週分の休みを２回に分けて取ることができるようになった。

令和２年度、地方公務員の男性の育児休業取得率が13・２％、長野県は６・６％で全国39位と低い結果であった。

町職員の育休取得率を伺う。

総務課長

令和３年度は育休取得対象者が８名であったが、取得者はゼロ。（令和２年度もゼロ）

この原因としては、育休制度が男性職員に未だ定着していないこと、手続きがより簡便な年次休暇を取得するケースが多いと考えられる。

10月から大幅に育児休暇が柔軟に取得しやすくなるため、制度の普及啓発と共に、休暇が取りやすい職場環境づくりに努めてまいりたい。

５Ｓ活動の取り組みのひとつ「滑走路作戦」

落札率100％はなぜ発生する

木下啓爾（きのした けいじ）

副町長　県で公表する「積算資料」が同じのため

▽質問

町の指名競争入札で「落札率１００％」が発生する理由は。

副町長

建設・建築工事の材料などの単価や労務単価は、長野県で公表している。町の工事費等の積算は、これに準じている。一方、指名事業者も、この公表された単価により価格を算出しているので、「落札率１００％」といったケースもあり得る。

▽質問

高森町では、令和３年に総合評価方式指名競争入札を導入した。国では、令和４年から「賃上げを実施した企業」を評価時に優遇する制度も始まっている。また、「カーボンゼロ活動」と関係するグリーン契約と呼ばれる環境配慮契約も注目をされている。今後、高森町でも導入したらどうか。

副町長

入札には、技術・経験・実績等などについて信用のある地元事業者を選定し、業者間で価格競争をする指名競争入札制度を実施している。

一方で、価格以外の技術提案とか、安全対策・環境保全などの多様な要素を考慮して、価格と品質が総合的に優れた事業者を落札者とする方法があるのも承知している。

先ずは地元業者の受注機会に影響の少ない電気とか改修工事等調達分野を対象に、県・近隣自治体、地域産業などの動向を情報収集しつつ、その可能性を探って行きたい。

▽質問

町民への入札結果の情報公開は、町の予算やその執行の透明性を高め、住民からの信頼を得ることにつながる。

入札について、予定価格の決定、入札業者の選定、落札者の決定などさまざまな行程が適切に行われているかを町ではどのようにチェックしているのか。

副町長

入札に係わる組織内部のチェックは、納品状態を担当課で、根拠法令・業者選定・選定理由などを請負人選定委員会において審査している。決裁回議を町長まで行っていることもチェックの一つ。また、監査委員による監査により入札執行のチェックが出来ている。

▽質問

国土交通省は、地方公共団体における入札監視委員会等第三者機関の設置を提唱している。地方自治体での設置はまだまだ進んでいないが、高森町でも町民への情報公開や、説明責任の観点から、その導入を検討してはどうか。

副町長

長野県は公共事業評価監視委員会を設置している。県内市町村において、入札監視委員会の機能を有した組織を設置しているところは把握していないが、今後に向けて研究していきたい。

6月　入札状況

担当課	図面番号	入札日	工事・業務名	工事箇所 業務対象	工事・業務概要	請負額(円)	請負業者	竣工日	契約方法	応札者数	落札率
健康福祉課	①	6月8日	令和４年度 健康センターあさぎりトレーニングマシン購入事業	下市田（健康センターあさぎり）	トレーニングマシン購入・設置　３台	1,999,800	㈱フクシ・エンタープライズ 南信営業所	2022/12/28	指名競争入札	3	99.9%
産業課	②	6月8日	令和4年度　下市田工業団地整備事業に伴う造成工事	リニアガイドウェイヤード用地1工区	造成工（盛土工）L＝518.8m　V＝56,500m3	40,865,000	(有)小池興業	2022/11/30	指名競争入札	5	99.8%
総務課	③	6月8日	令和4年度　消防詰所・車庫新築工事	出原　第2分団第2班詰所	木造2階建　延床面積A=63.48㎡	18,480,000	(有)中塚工務店	2022/12/28	指名競争入札	4	98.5%
建設課	④	6月23日	地方創生道整備推進交付金事業　道路改良工事に伴う用地調査等業務委託	町道112号線他　下伊那郡　高森町牛牧	用地測量　A=13,500㎡、調査業務　1式	7,920,000	㈱藤測	2022/10/20	指名競争入札	8	94.4%
建設課	⑤	6月23日	令和４年度　町内道路維持管理業務委託	高森町　町内11路線	道路除草工　町内11路線A=20,120㎡	2,090,000	有限会社　イチバ土木	2022/9/30	指名競争入札	9	100.0%
環境水道課	⑥	6月23日	令和4年度　配水管布設替工事	高森町　山吹　正木地区（2工区）	配水管布設　HPPEφ100 L=246.2m、減圧弁設置　1基 消火栓設置　1基、水管橋L=20.0m、舗装本復旧A=268m2	25,300,000	飯田建設㈱	2022/12/28	指名競争入札	5	89.0%
環境水道課	⑦	6月23日	令和4年度　給水管布設替工事（下市田1区北の原）	高森町　下市田1区　北の原	給水管布設替等一式	1,892,000	（有）高森設備	2022/9/30	指名競争入札	6	97.7%
環境水道課	⑧	6月23日	令和4年度　給水管布設替工事（山吹上北林）	高森町　山吹上地区北林	給水管布設替等一式	1,045,000	(有)吉森	2022/9/30	指名競争入札	6	90.5%
環境水道課	⑨	6月23日	令和4年度　町単　高森町公共下水道基本計画 及び事業認可変更等の設計業務委託（債務負担）	高森町　公共下水道町内一円	基本計画（全体設計）変更業務　1式、都市計画決定図書作成業務　1式 下水道法事業計画変更業務1式	26,400,000	日本水工設計(株) 長野事務所	2024/3/11	指名競争入札	5	94.7%
教育委員会	⑩	6月23日	令和4年度　タブレット用ACアダプター購入	高森町教育委員会	タブレット用ACアダプター（富士通ARROWS Tab用ACアダプタFMV-AC337）420ヶ	1,940,400	（株）日幸電気	2022/3/31	指名競争入札	6	70.0%
教育委員会	⑪	6月23日	令和4年度　高森町教育用電子黒板備品購入	高森町立高森南小学校、高森町立高森北小学校	電子黒板、パソコン、その他附属品（各校1台、計2台）	1,397,000	（株）日幸電気	2022/3/31	指名競争入札	6	92.7%

区長会を通じて公開されている入札結果

脱炭素で町有林 農地の資産化を

産業課長　国や県へ粘り強く求めてまいりたい

▽質問

町と議会が宣言したゼロカーボンに向けての取り組みについて、何をしているのだろうかと声を聞く。ゼロカーボン学習会、高森町再エネ導入戦略等検討委員会が開かれたが、意見、賛否、町民への広報は。

環境水道課長

「地球温暖化問題を身近に感じ、自分のできることを取り組んでいこうと思った」「本当にカーボンゼロは可能なのか」「具体的にどう取り組むのかわからない」とご意見があった。反対はなし。

町民・事業者・行政が一体となって積極的に進めていくことが重要。

これまで脱炭素計画づくりを主に行い、町民への周知は不十分だった。今年度から、毎月広報たかもりへ地球温暖化情報を掲載、下半期には町ホームページの充実を図る予定。

齋藤（さいとう）　天（ひろし）

▽質問

農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」（令和4年7月1日に施行）にて、2050年までに農林水産業の、CO2ゼロエミッション化の実現を目指すと掲げているが、当町の構想は。

産業課長

革新的な技術や生産・流通体系を開発し、それを現場に実装することが不可欠。化学肥料の新たな品目への置き換え、技術の定着・普及についてなど情報提供に努める。

▽質問

システム戦略では「低リスク農薬へ転換」とある。農薬のリスクについて、ネオニコチノイド系（ミツバチ、ワカサギ減少など）の他にも、「発達障がい」のリスクが週刊誌や論文で出されているがどう考えているか。

産業課長

除草剤の「グリホサート」は、注意欠陥障がい・多動障がいに関連があると確認。園芸殺虫剤の「有機リン系」は、神経障がいにつながる報告もあるが、条件が異なり反論もある。定期的に試験、再検査が定められている。定量使用、防護対策が肝要。農家のみなさまと改めて情報共有する。

▽質問

システム戦略の最新技術導入として、「ゲノム編集」品目（血圧が下がるトマト、肉厚真鯛など）がある。数年後の危険性や不安があると聞くが、子どもたちを守る条例の制定や、多角的情報発信が必要だが。

産業課長

病害虫への耐性、収量の確保の両立を図るためにゲノム編集は避けられない。その技術の危険性や将来の影響を踏まえた使用規制を条例化することは現実的でない。正確・慎重・冷静に情報共有する。

▽質問

森林等の少ない都市部とのゼロカーボン連携で、町有林、農地の資産化を図り、その財源で地域課題解決ができないか。

産業課長

環境譲与税があるが、十分な交付額を得られていない。森林の世代交代まで進められないのが現状。国や県へ要望活動、配分方法など制度改善も粘り強く求めてまいりたい。

森林や田畑が町の大きな資産になる取り組みを

再生可能エネルギーの目標は

環境水道課長　**将来はエネルギー地産地消へ**

佐々木（ささき）　昌（あきら）

▽**質問**

電力価格高騰、再エネ新電力の経営困難が伝えられているが、町民ができる省エネ後押しの状況は。

環境水道課長

２０５０年カーボンニュートラルとも連動し、多様な分野で脱炭素の取り組みや補助事業が展開されている。「信州省エネ家電購入応援キャンペーン事業」としてポイント交付したり、「信州健康エコ住宅助成金」を設け、新築リホームに対して県民への支援も行われている。当町では太陽光発電に対して、住宅屋根への設置補助を実施している。

▽**質問**

今後のゼロカーボン２０３０中期目標にも対応した補助制度などは。

環境水道課長

先の国・県補助制度の広報案内をしながら、町独自として、住宅の断熱改修やエコカー導入に対しての補助制度の検討を進める。

▽**質問**

再エネ新電力分野での太陽光発電など再生可能エネルギー拡大の見通しは。

環境水道課長

地球温暖化抑制、また地域防災力向上や強いまちづくりのために、再エネ中ＣＯ２削減率７割の太陽光発電をはじめ、小水力、木質バイオマス利用促進を目指す。将来的エネルギーの地産地消、自立地域づくりの方向につなげたい。

遊休荒廃地の有効活用策は

産業課長　**景観も考慮した土壌改良植物の利用など**

▽**質問**

あと50年で現状の耕土は農薬・肥料等で土質が変質し地中生物の絶滅が進むともいわれているが、その一方で遊休荒廃地が増えている現状があ

る。ゼロカーボンに向けた取り組みと併せ農地有効管理の方策は。

産業課長

健康への影響、生態系への影響などへのリスクとのバランスで現在の栽培技術は確立されている。一方、生産条件の厳しい中山間部農地については、ＣＯ２吸収力の高い山林へ戻すことも選択肢となり得る。

陽のあたる屋根

サッカー場 町民への周知 参画を

北沢幸保（きたざわさちほ）

町長　不満なら然るべき手段をとって結構

▽質問

「町の方で用地を買い取らせていただき、パチンコ店の建屋は民間に買い取っていただき、そこを町で借りて改修する・・・」という構想は、誰と誰が相談してまとめたものか。

町長

県サッカー協会へまず相談しながら、理事者・建設課・環境水道課・教育委員会・総務課で内容を精査して、最終的には課長会議において方針を決定した。業者から提案されたものではない。

▽質問

なぜ更地にしてもらいたいと強く言えなかったのか。

町長

建物の有効利用できる方法として、町からサッカー場・クラブハウス・多目的広場の整備を提案させていただいた。厳しい条件を提示すれば町の提案が選択されないと推測した。

▽質問

パチンコ店の建物を購入した業者は、どのような経緯で購入業者になったのか。

町長

町の事業に協力していただける業者を前提に、金融機関から紹介いただいた。

▽質問

町にも建物購入の打診があったとのこと。提示された金額はいくらだったのか。

町長

最低でも6000万円くらいのところは確保したいと話があった。

▽質問

町長は、5年先までの大型事業として、「かわまちづくり事業」「下市田・山吹保育園の改築」「福祉センターの改築」を上げている。それぞれの概算事業費をどのように見込んでいるのか。

総務課長

未だ基本計画や構想段階であり、現時点で概算費用は算出してない。

▽質問

県サッカー協会のフットボールセンターのメリットデメリットは何か。また、いつまでに結論を出すのか。

建設課長

メリットは施設整備補助金5000万円が活用できること。稼働率の向上につながること。デメリットは公認を維持していくための費用がかさむこと。地域住民の利用が制限されること。結論を出すのは令和5年度の当初予算を編成する時期。

2億3650万円で改修が始まった「スポーツ拠点施設 クラブハウス」

▽質問

運営経費や利用料金など全貌が町民に明らかにされていないのに、周辺事業から予算や契約を議会に提出している。このやり方は、まちづくり基本条例の「町民への情報周知」「町民が計画に参画する」点が欠落しているのではないか。

町長

まちづくり基本条例に掲げている「基本原則」や「町長の責務」を果たせるように努力をしているつもり。それでもなお、まちづくり基本条例に逸脱していると考えるならば、然るべき手段をとっていただいて結構。

農業の多様な担い手の確保を

河合隆俊（かわい たかとし）

産業課長　農業に触れる機会を設ける

物価の高騰が続く中、農家の燃料や肥料、家畜の飼料代に対し町では補助をしている。しかし、農業経営は厳しさを増し、さらに農業従事者の高齢化、担い手確保が困難な状況は依然として続いている。

▽**質問**

これから地域の農業を担っていく世代が、効率的な農地利用やスマート農業を行うためにも、農地の集積・集約化が課題であり、「待ったなし」の状況である。町ではどのように捉えているのか。

産業課長

農業委員会の皆様との農地最適化ミーティングの状況をお聞きすると、営農の継続に不安の問い合わせは増えており、切迫した状況が引き続き続いている。

▽**質問**

「人・農地プラン」の実質化へ向けて取り組んでいるが、現状と成果は。

産業課長

農地の栽培作物、現状での作付け作物、将来の後継者の有無など聞き取りを行い、その調査結果を「色塗り地図」という形で視覚的に見やすく整理した。

今後、地域の営農活動などを検討する中での資料として活用していく。

▽**質問**

リフレッシュ農園を通じて、多様な担い手の確保をするためにも、「半農・半X（エックス）」※など新たな農業への関わりや柔軟な農地利用を推進する必要があるのでは。

産業課長

新たな農地の担い手として「半農・半X」は一つの可能性、選択肢である。

営農支援センター「ゆうき」では、栽培の学習会や収穫したもので料理教室などの機会を設けている。

まずは農業に触れる機会を設けることで、その選択肢に進んでいただく皆様を増やしていきたい。

▽**質問**

宿泊施設の整備をし、日帰り市民農園だけでなく、滞在型の市民農園にも取り組んではどうか。

産業課長

クラインガルテンと呼ばれる住宅付き農園が考えられるが、当地域の場合には、研修センター「森の家」など、簡易な宿泊施設をご活用いただき、農業に携わっていただくのが選択肢としてある。

都市圏の皆様が、先ほどの「森の家」研修センターに滞在し、地域の農家をご支援いただく「猫の手クラブ」援農活動がこれまでつながっている。

そこから、ご自身の圃場を持って農作業、農業をやってみたいという方が出てくることを期待している。

※「半農・半X」とは半自給的な農業と好きな仕事を両立させた生活

農地の多様な活用が期待されるリフレッシュ農園

11 住み続けられるまちづくりを

防災は地域づくりから

町村議会研修会　松本市キッセイ文化ホール　7月14日

防災・減災対策と議員の役割

跡見学園女子大学　鍵屋　一　氏

世界的パンデミックを巻き起こしたコロナ感染症により、災害時の避難対応についても、自宅や親戚宅などへ避難する在宅避難や、避難所での支援物資と、情報を受け取る仕組づくりなど、新たな避難様式の重要性が挙げられました。

高齢化が進み、災害避難時における助け合いの困難が予測される中、要支援者・要介護者への避難支援計画の作成、近所のつながりが大きな力になること。また議員の役割として地域をつなぎ、地域全体の防災力とコミュニティ力を高めることなどが挙げられました。

有事の際、当町議会では、迅速かつ適切な行動と被害の最小化を図ることを目的に「災害時行動マニュアル」に基づいた行動を取ることとなっています。

多くの議員が研修会に参加

議会でのハラスメント

弁護士　太田　雅幸　氏

近年、社会問題となっているパワハラ・セクハラ・※ソジハラの事例を元に、ハラスメントの防止・対処法・取り組みについて聞きました。

時代の変化と共に、個人を尊重する考え方や、人々のコミュニケーションのあり方も変化してきました。言葉ひとつ、態度ひとつを改めて見直す機会となりました。

（齋藤　記）

※ソジハラとは、性的指向や性自認に関連した差別的な言動・嘲笑・いじめ・暴力などの精神的・肉体的な嫌がらせを行うこと

議会は町民の声を行政へ

町民懇談会　下市田区民会館　7月20日

議会運営委員会は、「高森町のサッカー場と場外舟券売り場建設を考える会」からの要請により懇談を行いました。

まず、副議長からサッカー場建設について経過報告をし、質疑に入りました。

「サッカー場建設は決まったことなのか、町民は反対意見を論議することはできないのか。」「町民不在の進め方ではないか。」と質問があり、副議長が「議員は町民の代表として町の意志を決定する、重大な職責を持っている。議会では事業について議決することはない。執行機関から提案される事業案の予算について審疑し議決している。」と回答をしました。

次に「サッカー場の予算内容については、どのような議論をしてきたのか。」と質問があり「予算はまだ出ていないので議論していないが、町の報告では〝山吹下河原は『かわまちづくり構想』と一体化して、誘客・関係人口を増やしていきたい。その中でパチンコ店の土地と建物を利用しながら、青少年の集う場所にしたい〟との説明があった。事業内容は、『公認されたサッカー場をつくりたい』とのことであった。また、1月4日まで説明ができなかったのは、12月末までパチンコ店が営業するので口外しないよう言われていた。」と回答しました。

舟券売り場についても意見が出され、議長から「舟券売り場建設には、地元・議会・町長のいずれかが反対すれば建設できない。」と回答をしました。

また、「考える会」から「サッカー場について、予算などの内容をつめた議論をしてほしい。」「クラブハウスは予算が付いて改修が進んでいくが、決まったものに対しても議会は調査をしてほしい。」と意見・要望がありました。

議会は町民の声を行政へ届け、誰もが安心して暮らせる町にするため、議決機関としての役割を果たしていきます。

（議会運営委員長　市川　記）

№152に寄せられたモニターさんの声・声・声

▼議案ピックアップ

ウクライナ避難民の人道支援事業の委託料の内容をもう少し詳しく知りたい

▼定例会

限られたスペースでの文字数では、詳しい内容が全く分かりません。早くWEB化していただき、リンクから情報が見られるようにしてほしいです

▼サッカー場視察

子ども達の嬉しそうな顔、言葉が知れてよかった。視察の様子もあり、サッカー場への関心が高いと感じた

▼一般質問

質問の前に、自分の考えを全員が入れてほしい。当日発言してないことは載せてはいけないのかな

議員さん方には、質問・提案しっぱなしでなく過去の質問・提案に対する進捗だったり、ほかの議員さんと違うテーマばかりでなくても、関連性のある質問もあっても良いと思う

子育て支援や食育についてのさらなる改良が楽しみになりました

▼追跡

追跡。まず誰の質問か。(答弁は総務課長と載っているのに)そして誰が「その後」の記事を書いたのか。いい企画なのにこれも名前が載っていないのが残念

▼裏表紙

みんなの声、広く話題の人のピックアップでも、議会に関係なく登場してみてはいかがですか

▼扱ってほしい内容

やはり議員紹介コーナーがあると、一般質問のページも、より関心を持って読んでもらえると思います

追跡!!

有害鳥獣捕獲は今どうなってるの?

質問

町内でも近年、クマの出没が多い。クマの餌場にドングリのなる木を植えるなどして、クマが里へ出てこないような、鳥獣対策を含んだ山林の整備計画は。

【令和2年12月議会定例会】

答弁

餌となるものの樹木を植えることについては、そのほかの動物の動向にも関わるので、その効果なども慎重に考えなければならない。防護柵やその緩衝帯の整備といった二次的な対策で進めたい。

⇩

【産業課長】

その後

山麓電気柵に沿った5mの緩衝帯を令和元年度から3年間かけて10mに拡幅している。また抜け道となっている河川対策として堰堤上に電気柵を整備した。令和2年度には鳥獣戦隊オウンジャーを組織化し68名の登録になった。最近ではクマ捕獲作業の安全性向上のためドラム缶式捕獲檻を整備した。

捕獲鳥獣の種類	年度	捕獲数	年度	捕獲数	増減
ニホンジカ	2	25頭	3	28頭	3頭増
イノシシ	2	7頭	3	15頭	8頭増
ニホンザル	2	20頭	3	23頭	3頭増
ツキノワグマ	**2**	**3頭**	**3**	**11頭**	**8頭増**
小動物	2	37頭	3	44頭	7頭増
カラス	2	1羽	3	3羽	2羽増

有害鳥獣捕獲実績表（令和2・3年度比較）

ドラム缶を利用したクマの檻

町民の生活を広く支援

８月臨時会において、物価高騰による影響から町民の生活を支援するための議案が上程され、議会で可決しました。**水道会計**では、一般家庭の**お風呂180ℓに換算すると、１か月約30杯分。３か月で約90杯分の支援**になります。

ここでは主に町民の生活に直結する支援について取り上げ、町民の方からいただいた声をお伝えします。

町営水道料金低減のための水道会計繰出金　1672万円

月1100円を3ヵ月間減額

- 高森は「水がおいしい」って言われる。市町村ごとで水道代が違うとは知らなかった。やすくなってくれて良かった。町で良い取り組みをしているのに知らなかった。
- 水道料金の伝票を見て、旦那さんと「え？安くなってる！嬉しー！」と喜びました。物価が上がって大変だったので本当にありがたいです。

保育園・小中学校給食食材費補助　659万円

１食20円を補助

- 給食費を高く感じていて、物価高騰をテレビで知った時にはいつ値上げするのかドキドキしていた。値上げせずに補助していただきありがたい。引き続き給食費の値下げにも取り組んでほしい。
- 補助によって子供たちの給食のクオリティーが下がらずに済むのは大変助かる。
- 物価高騰で生活面での色々な補助を考えてくれて安心する。
- 子どもたちに関わる補助を多方面で考えてほしい。

肥料・飼料購入費用補助　2220万円

肥 上限20万円　飼 上限150万円を補助

- 肥料価格高騰を心配していたが、町で少しでも支援してくれるので頑張れます。
- 今回の肥料に対しての支援はありがたいが、今後の農薬や資材の値上がりも心配している。農業は自然相手なので収入が不安定。肥料や資材費は上がるばかりでいつまで続けられるかわからない。しかし、農業は町の基幹産業であるので生産者としては努力していくしかない。

小規模事業者向け光熱費等補助　800万円増額

(6月補正計上)

燃料・光熱費上限50万円を補助

- 物価高騰対策支援金を申請しました。私は花卉（かき）栽培農家です。冬場は重油を多く使います。対象条件の青色申告もしていますので、早速支援金を申請しました。１月から３月までの領収書のコピーを添えて申請書を役場に提出しました。手続きも簡単で支援金も 1カ月半くらいでいただけたので助かりました。社会の状況により、こう言う制度も設けて頂けるととてもありがたいです。
- 物価高騰で水道光熱費が年間で250万円ほど上がっていた。30万円の補助は本当に助かった。

ご協力
ありがとうございました。

※写真撮影のため
マスクを外しています。

みんなの声

厳しい経済状況が続きますが

山吹　伊藤（いとう） いづみさん

10月に入り、物価高騰による値上げが著しく進んでおります。

私の身近には、野菜や果物をくださる近隣の方々が多く、この地域性と皆さまの心の温かさに日々感謝しかありません。また、高森町では経済的支援として、事業者に対しての「物価高騰対策支援金」によるいち早い補助が行われており、事業者にとって大きな支えになった事と思います。

今後も経済状況は厳しさが続き、消費者としてもお財布に厳しい状況が続くと思われますが、いい意味では円安や賃金の伸び悩みからくる国内回帰の側面もあるかと思います。まずは今ある環境に感謝しつつ、この状況下で自分には何が出来るのかを考え、また子供達にも未来に向けてどうしていくべきか伝えながら生活できればと思います。

人づくり×まちづくり

牛牧　沢田（さわだ）和夫（かずお）さん

リニア中央新幹線開通に伴う様々なインフラ整備や、サッカー場をはじめとする様々な施設の建設計画が進み、高森町が発展していく一方で、人づくりに関して自分も含め、どの様に成長して行くのか、又は行ったら良いのか、考える事が増えました。新型コロナウイルスの影響で地元のお祭りは中止が続き、高森町全体の素晴らしい伝統芸能の継承を不安に思う中で、常会未加入世帯の急増に追い打ちをかけられています。私の近所では、小学校の子供を持つ世帯の約7割は常会未加入世帯です。常会に入れない理由も様々であり、常会も改善の余地はあるかと思います。どうか高森町が『人づくり』を軸に『まちづくり』（インフラ・施設）を掛け合わせて、真の良い町になって行く事を願っています。

あなたも議会を傍聴してみませんか？

次回の定例会は

12月です。

主な内容

・議案審議

・一般質問

・請願審査

場所 役場３階議場

詳しくは議会事務局へ

☎35-9404

表紙の写真

町では、物価高騰による保護者の経済的負担の軽減をはかるため、令和４年度中の給食や保育園副食費を補助しています。

子どもたちが楽しみにしている給食の時間は「黙食」になり、班になって食べられない代わりに「しっかり味わって食べる」ことが定着しています。

編集後記

令和3年度の決算を9月議会で認定しました。町民一人当たりの金額にしてみますと、歳出（使ったお金）は58万円・基金（積立）は18万円・町債（借金）は50万円となりました。皆さんはどのようにお感じですか。

今年は、コロナ禍に加えて様々な物価が上昇する「値上げラッシュ」が襲ってきました。町民の生活を広く支援する立場で様々な補助金を議会で可決しました。（P19）

これからも広く町民の声に耳を傾け、その想いを町政に反映させなければなりません。

（北沢　記）

～議会だよりをお読みになってのご意見・ご感想をお寄せ下さい～

発行／長野県高森町議会　責任者／小平一博　編集／議会だより編集特別委員会
〒399-3193 下伊那郡高森町下市田2183番地１　TEL0265-35-9404　FAX0265-35-8294

UD FONT

古紙再生紙使用